

令和5年9月5日～7日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	6 番	氏 名	濱 口 正 久
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市の福祉関係における地域共生社会実現のための3つの柱「つながる」「稼ぐ」「社会資源の有効活用」について</p> <p>鳥羽市において人口減少が進む中、少子高齢化は「地域力の低下」を招き、様々な問題を抱えている。とりわけ、高齢化は地域の「介護力の低下」につながっており、「介護力の低下」は諸問題を大きくしかねない喫緊の課題である。「地域力の低下」をすこしでも緩和させるには「つながり」が大切であり、「稼ぐ」事によって諸問題の解決につなげる。そのためには限られた社会資源を有効活用することも大切であると考えます。</p> <p>そこで、以下の諸点について問う。</p> <p>① 鳥羽市の高齢者介護の現状と課題について ② 鳥羽市の高齢者の虐待の現状と課題について ③ 大人のひきこもりについて ④ 社会と「つながる」自立のための「稼ぐ」について ⑤ 社会資源の有効活用について ⑥ 地域共生社会実現に向けた施策について</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 敬老施策について</p> <p>本年は9月18日が「敬老の日」で国民全体の祝日となっている。多年にわたり社会に尽くされてきた高齢者を尊び、長寿を祝すことは自治体の重要な責務である。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>① 第6次鳥羽市総合計画策定に関する市民意識調査において、問10「居住地域における課題」で最も高いのはなにか。</p> <p>② 第6次鳥羽市総合計画の市民要求に基づく高齢者の生活支援に関して、市は新たな調査や事業をどのように展開してきたか。</p> <p>③ 「いきいきお出かけ券」の経済波及効果はどのようなものであったか。</p> <p>④ 全国の自治体が実施している「敬老祝い金」を含む新たな敬老施策に関する市長の考えは。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ マイナンバーカードについて</p> <p>マイナンバーカードをめぐりトラブルが相次いでおり、市民の間にも懸念の声が広がっているが、そのような状況の中、本市はマイナンバーカード及びマイナンバーカードの保険証との一体化について推進を図っている。</p> <p>そこで以下の諸点について問う。</p> <p>① 共同通信は全国の市区町村長に対しマイナンバーカードと保険証一本化についてアンケートを実施した。市長はどのようにお答えになったか。</p> <p>② 本市の現在のカード申請数と申請率、返納数、返納問い合わせ数はどれだけか。</p> <p>③ マイナンバーカードの発行事務については各自治体における事務量の増大が危惧されている。本市における事務量、担当職員の過重負担の状況はどうか。また本市のトラブル数と内容はどのようなものがあるか。</p> <p>④ マイナンバーカードと一体の保険証について、市内の医療機関が被っているトラブルをどのように把握しているか。</p> <p>⑤ マイナンバーカードとの一体化による保険証廃止についての市長の所見は。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 自衛隊への名簿提供について</p> <p>鳥羽市は自衛隊に対して住民の個人情報を提供している。市民から疑問の声が寄せられている。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>① 本市はこれまで自衛隊に対し閲覧と書き写しのみを認めてきた。なぜ市みずから名簿を作成し提供したのか。経緯はどのようなものか。</p> <p>② 提供している名簿はどのような形式か。提供した人数、時期、本人承諾の有無はどうか。</p> <p>③ 住民が個人情報提供を望まない場合、名簿からの除外を申請できる。本市はどのように周知したか、また申請のあった人数はどれだけか。</p> <p>④ 市民が望まないケースは当然ある。今後、鳥羽市はどのように対応するのか市長の見解を問う。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 本市の道路環境整備と土砂災害防止対策について</p> <p>国土強靱化を推し進める中でも、道路インフラは市民の日常生活や経済活動の基盤を構成する重要な役割を担っている。本市では、この道路インフラの老朽化が進行しており、安全・安心なまちづくりを実現するためにも計画的な長寿命化対策を実施することが重要であり、適正な維持管理も必要である。</p> <p>また、昨今の集中豪雨など異常気象に対応した防災・減災対策を強化するためにも、土砂災害を防止する対策は大変重要である。</p> <p>そこで以下の点について問う。</p> <p>① 町内会・自治会からのインフラ整備の要望について。 ② 道路管理者としての道路法の規定に基づいた管理について。 ③ 市道に関する不法占用の対応について。 ④ 県単事業に対する鳥羽市からの要望について。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 危険なブロック塀の撤去について</p> <p>全国においても地震によりブロック塀が倒壊して、尊い人命を奪ってしまう事例が発生している。また、ブロック塀の倒壊により、通学路や避難路がふさがれてしまい、安全に避難場所に向かうことが困難となり、救助活動の妨げになることも考えられる。</p> <p>地震等の災害から市民の生命、身体及び財産を保護し、災害に強いまちづくりを推進するため、市内に存する危険なブロック塀等の撤去を行い、被害を未然に防止する対策が必要である。</p> <p>そこで以下の点について問う。</p> <p>① 平成 30 年 9 月議会において計上された鳥羽市ブロック塀等撤去事業補助金について。</p> <p>② 事業実施の経緯について。</p> <p>③ 今後の対策について。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	世 古 雅 人
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 台風や豪雨による冠水等の危険箇所における今後の対策や情報伝達方法について</p> <p>昨今では、台風の勢力は巨大化し、「特別警報」という言葉を聞く機会も多くなり、全国各地で甚大な被害が年々増えてきている。自然災害から住民を守るため、多額の財源や多くの時間を要してでも被害のリスクを軽減するためのインフラ整備をしなければならない。</p> <p>そこで、以下の点について問う。</p> <p>① 市・県が管轄する冠水等による被害が常に発生していて、早急に整備が必要な危険箇所はどこか。</p> <p>② その危険箇所における現状での対応状況及び今後の対策をどのように考えているのか。</p> <p>③ 県管轄の案件は、6月以降、どのように対応したか。また、今後どのように進めていくのか。</p> <p>④ 災害時（通行止め、土砂崩れ等）の迅速な情報収集及び伝達について、本年6月に観光関係団体から市へ要望書が提出された。現状と今後の情報伝達方法や災害対策本部の対応等どのような対応方針で進めていくのか。</p> <p><担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	世 古 雅 人
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 暴風警報等における町内会等への避難所運営への協力要請について</p> <p>暴風警報等で避難が必要な際、各地域で地元職員等による災害時地区指定員を中心に避難所運営を行っているが、現在では一部地域で職員の不在により地区指定員による避難所運営が出来ていない状況であると聞く。この問題は、今後さらに進展していくことが懸念されている。</p> <p>そこで、以下の点について問う。</p> <p>① 災害対策基本法には、市の責務と住民の責務がどのように規定されているか。</p> <p>② 市民が災害から自分の生命と財産を守るためには何が最も重要であると考えるか</p> <p>③ 昨年度における避難所開設の対応状況と運営での問題点・課題は何か。</p> <p>④ 町内会等への避難所運営の協力要請と今後の運営をどのように考えているのか。</p> <p><担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	世 古 雅 人
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市営定期航路の欠航判断とその際の離島住民等への対応について</p> <p>台風7号における市営定期航路で、8月14日・15日の欠航は、お盆中でもあり、多くの苦情が寄せられたと聞く。</p> <p>今後、このような台風の襲来に伴い欠航することもある中で、離島住民等からの苦情や不安を無くす、あるいは少なくする方向に進めていくことも行政の責務であると考えている。</p> <p>そこで、以下の点について問う。</p> <p>① 離島住民等から市への苦情はどれくらいあったのか。</p> <p>② 欠航判断は、どのように決められるのか。</p> <p>③ 欠航判断は、具体的にいつ、誰が、どのように決定されたのか。</p> <p>④ 離島住民等への欠航の周知は、いつ、誰が、どのように行われたのか。</p> <p>⑤ 離島住民等からの苦情を無くす手法及び努力をどのように進めていくのか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	11番	氏名	坂倉広子
<p>件名及び 要旨</p>	<p>○ 障がい者等の投票環境の向上について</p> <p>投票率の向上を図っていくためには、有権者が投票しやすい環境整備を推進していくことが重要である。特に障がいを持つ方や、高齢者に対しては、投票の環境における公正確保に留意しつつ有権者に着目した投票機会の合理的配慮が大事だと考えることから以下の点について聞く。</p> <p>① 投票所で支援を受けたいが口頭で伝えることが困難な方や苦手な方への支援について。</p> <p>② 選挙支援カードについて。</p> <p>③ 視覚障がい者のための「音声コード」利用促進について。</p> <p>④ 巡回車両による移動期日前投票所の設置や福祉的移動支援の取り組みについて。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	11番	氏名	坂倉広子
<p>件名及び 要旨</p>	<p>○ 不登校児童生徒への支援について</p> <p>小・中・高等学校の不登校の児童生徒が急増し、約30万人となる中、文部科学省は、令和5年3月31日に、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現していこうと「COCOLOプラン」を発表した。これらを踏まえ、不登校児童生徒への支援について、以下の点について聞く。</p> <p>① 親（保護者）への支援について。</p> <p>② スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用について。</p> <p>③ 学校の教室に入れない子の居場所づくりについて。</p> <p>④ 加配職員人数・配置場所について。</p> <p>⑤ 家で勉強できる環境づくり「オンライン授業の配信」について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			